

結婚は、
幸せの始まりだと思っていた——。

違う家で育ち、違う「普通」を持つ二人が、
同じ家で暮らし始めるとき、
見えてくるのは、愛だけでは埋められない
小さな違和感の積み重ねだった。

食事、お金、家族、仕事、病気、
感謝の言葉、沈黙の意味——
どれもが、当たり前なのに、どこか違う。

結婚したあと、私は少しずつ自分の声を失っていった。
それでも、ずっと一緒にいなければならないと
思っていた。

これは、結婚という制度の中で
自分を見失いながらも、
もう一度、自分の声を取り戻し、
そして他人の痛みを耳を傾ける人へと
歩み出す女性の物語です。

定価 1,760円 (税込)

結婚
した、
そのあと



深川
雅彦

結婚した、 そのあと

深川 雅彦

